

令和5年度 昇段審査会学科試験問題（全会場）

【初段】

- 1 「剣道の理念」（全剣連制定）を書き、あなたが「剣道を始めた動機」を述べなさい。
- 2 「切り返しの目的」について説明しなさい。

【二段】

- 1 「剣道の理念」と「剣道修練の心構え」（全剣連制定）を書きなさい。
- 2 「有効打突の6つの要件」について説明しなさい。

【三段】

- 1 「剣道の理念」と「剣道修練の心構え」（全剣連制定）を書きなさい。
- 2 日本剣道形で使われる「太刀五つの構え」について書き、説明しなさい。

【四段】

- 1 「剣道指導の心構え」（全剣連制定）を書き、説明しなさい。
- 2 「剣道試合・審判規則」での「禁止行為」を5つ以上書きなさい。

【五段】

- 1 「剣道指導の心構え」（全剣連制定）を書き、説明しなさい。
- 2 「日本剣道形を修練するときの留意点」を5つ以上書きなさい。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による

人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び

心身を錬磨して旺盛なる気力を養い

剣道の特性を通じて礼節をとるとび

信義を重んじ誠を尽して

常に自己の修養に努め

以って国家社会を愛して

広く人類の平和繁栄に

寄与せんとするものである

昭和 50 年 3 月 20 日制定 全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼 法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成 19 年 3 月 14 日制定 全日本剣道連盟